

福井県教育総合研究所の沿革

昭和25年	4月 1日	福井県教育研究所を設置（昭和22年3月に文部省から出された「教育研究所開設に関する通達」により、福井県教育委員会規程（昭和25年福井県教育委員会訓令第37号）で設置）
	同日	所長は千田専平教育長が兼務
	20日	県教育委員会事務局指導課主管のもと県立図書館内に開所
	5月	全国教育研究所連盟に加盟
昭和26年	4月20日	第一次福井県標準学力検査を実施
	5月 1日	所報第1号を発行
	9月 7日	県立高志高等学校内に移転
昭和27年	6月10日	研究紀要第1号を発行
昭和28年	5月 1日	第7回東海北信教育研究所連盟研究発表会を開催
昭和30年	3月20日	県立図書館内に移転
昭和31年	5月 1日	所長は平原浩哉教育長が兼務
昭和32年	1月14日	「福井県教育研究所設置条例」、「福井県教育研究所規則」を公布
	5月11日	所長は川端喜代治教育長が兼務
	9月26日	教育委員会事務局機構改革により学校教育課主管となる
	10月24日	第16回東海北信教育研究所連盟総会研究発表大会を開催
昭和33年	9月	「福井県道徳教育の手引」を刊行
昭和34年	6月 5日	所長は山本寿教育長が兼務
昭和37年	5月17日	第25回東海北信教育研究所連盟総会・第1回研究協議会を開催
	11月	「福井県標準学力検査」を「福井県学力検査」に改称
昭和38年	7月 4日	所長は森欣吾教育長が兼務
昭和39年	12月14日	電気ビルへの県教育委員会事務局移転に合わせて、研究所も同ビル5階の指導課内に移転
昭和40年	2月15日	「福井県教育研究所15年史」を刊行
	4月 1日	所長は橋本大三教育長が兼務
昭和42年	10月10日	所長は岡島繁教育長が兼務
昭和43年	10月	第23回国民体育大会（福井国体）が開催
	11月18日	県電気ビル3階に移転
		県下教員研究志向調査を実施
昭和44年	4月 1日	所長は加藤秀雄教育長が兼務
	6月27日	県織協ビルに移転
	10月	教育研究所新庁舎工事着工（国体開催時の運動公園駐車場跡地）
	10月 1日	新庁舎建築起工式
	14日	県民会館にて教育相談を開始
昭和45年	3月31日	「福井県教育研究所規則」を公布
	4月 1日	「福井県教育研究所処務規程」を制定
	6日	「サイエンスカー太陽」発車式
	22日	研修講座を開始

	7月17日	教育研究所新庁舎に移転
	31日	新庁舎で研修講座を開始
	9月1日	斉藤豊 所長に就任
	11月1日	教育研究所・青少年センター庁舎落成式
昭和46年	6月1日	「福井県教育委員会行政組織規則」により各課分掌事務を決定
	7～8月	嶺南地区移動教育相談室を開設
	10月14日	第44回東海北信教育研究所連盟総会・研究発表大会を開催（芦泉荘）
昭和47年	4月1日	巨田元尚 所長に就任
	4月	県民会館での相談活動を止め、研究所に一本化
	6月21日	学制百年記念座談会を開催
	12月4日	福井県情報処理教育センター建設工事に着工
昭和48年	3月20日	「福井県教育研究所教育史研究室設置規程」を制定
	同日	「福井県教育百年史」編纂に着手
	4月1日	教育史研究室を設置
	6月18日	海外研修資料コーナー開設式
	7月25日	情報処理教育センター建設工事が完了
	9月18日	富士通FACOM230-25の設置が完了
	10月3日	情報処理教育センターを設置
	11月3日	情報処理教育課を新庁舎に移転
	12月4日	情報処理教育センター完成記念式典を挙行
昭和49年	4月1日	情報処理教育、生徒実習を開始
	同日	電話相談を開設
	9月11日	第45回全国理科教育センター研究協議会を開催
	26日	第50回東海北信教育研究所連盟秋季総会・研究発表会を開催
	10月15日	第10回東海北陸理科センター研究協議会を開催
昭和50年	11月	「福井県教育百年史」（第三巻・史料編一）を刊行
昭和51年	3月31日	「福井県の自然」－野外観察指導資料－を刊行
	7月3日	表現教育研修棟建設工事に着工
	10月19日	都道府県教育研究所長協議会研究大会、全国理科教育センター研究協議会を開催
昭和52年	3月25日	表現教育課を新設
	4月1日	山岸竹雄 所長に就任
	14日	表現教育研修棟建設工事が完了
	5月16日	表現教育研修棟2階に第一資料室・教育史研究室を移動
	6月9日	第55回東海北陸教育研究所連盟春季総会・研究協議会を開催
	7月	スライド教材「福井県の自然」を刊行
	10月	「福井県教育百年史」第四巻（史料編二）を刊行
昭和53年	3月	「福井県教育百年史」第一巻（通史編一）を刊行
昭和54年	4月1日	三上一夫 所長に就任
	10月17日	第50回全国理科教育センター研究協議会・発表会を開催
	29日	「福井県教育百年史」刊行完結記念式
	11月	「福井県教育百年史」第二巻（通史編二）を刊行（全巻）

		刊行)
		「教育機器利用の手引」を刊行
昭和55年	2～3月	若狭支所用地を造成
	3月31日	教育史研究室を廃止
	6月5日	第61回東海北陸教育研究所連盟春季総会・研究協議会を開催
	8月30日	教育研究所若狭支所新庁舎起工式
昭和56年	3月30日	教育研究所若狭支所建設工事が完了
	4月1日	教育研究所若狭支所が業務を開始
	6日	教育研究所若狭支所新庁舎落成・開所式
	9月29日	第17回東海北陸理科教育センター研究協議会を開催
	10月12日	全国教育研究所連盟英語LL研究協議会を開催
昭和57年	4月1日	藤羽霊昌 所長に就任
昭和58年	3月25日	相談課・若狭支所の特殊教育の業務が特殊教育センターに移管
	4月1日	川崎博 所長に就任
	4月	「福井県学力検査」から「福井県学力調査」に改称
昭和59年	4月	教育研究所指標を「新設・迅速・責任」とする
	5月	免許外教科担任教員研修講座を開始
昭和60年	2月18日	第1回福井県教育研究所研究発表会を開催
	4月1日	橋本亮二 所長に就任
	4月	教育研究所指標を「創造の視点・連帯協力体制・活力ある庁風」に改訂
	10月4日	情報処理教育センター新電子計算機組織ACOS550を導入
昭和61年	3月4/6日	第2回福井県教育研究所研究発表会を開催
	31日	「福井県教育委員会規則（規則第4号）」を一部改正
	4月1日	第一課・若狭支所業務に、同和教育を追加
	同日	教育研究所指標を「開かれた研究所・魅力ある教育研修・公僕の花」に改訂
昭和62年	3月10日	第3回福井県教育研究所研究発表会を開催
	4月1日	東出市二郎 所長に就任
	6月	学習意欲諸要因調査「マイライフ」を新設。第1回調査を実施
	9月3/4日	第23回東海北陸理科教育センター研究協議会を開催
昭和63年	3月2/3日	第4回福井県教育研究所研究発表会を開催（公開）
	4月1日	生活科担当所員を配置
	同日	全国産業教育センター所長協議会に加盟
	4月	教育研究所指標を「進取と創造の花・魅力ある教員研修・学校に生きる研究」に改訂
	5月	駐車場の整備
平成元年	3月2/3日	第5回福井県教育研究所研究発表会を開催（公募・公開）
	4月1日	情報処理教育センター新電子計算機組織をACOS610に更新
	27日	東海北陸教育研究所連盟総会を芦原にて開催
	28/29日	第74回東海北陸教育研究所連盟研究協議会を開催
	11月28日	福井県教育研究所40年記念式典を挙げる

		同日	福井県教育研究所40史を刊行
		28/29日	第6回福井県教育研究所研究発表会を開催
平成	2年	4月 1日	前田善隆 所長に就任
		5月 7日	フレンド学級を開設
		24日	親の集いファミリールームを開設
		6月11日	第1回教育情報ネットワーク委員会を開催
		9月13/14日	第24回全国理科教育センター研究協議会初等理科部会を開催
			若狭支所10周年記念式典を挙行
			若狭支所「十年の歩み」を刊行
平成	3年	4月 1日	内藤保夫 所長に就任
		同日	文部省委託「情報手段の教育的活用に関する実践の研究」 教育図書・教育資料のデータベース化を開始
		8月 1日	福井県教育情報ネットワーク (FF-Net) を開始
平成	4年	2月26日	「マイライフ」を全面改訂
		28日	「教師のための登校拒否Q&A」を刊行
		3月11日	「教育情報ネットワークの在り方」を報告
		4月 1日	電子計算機組織をACOS3400/65に更新
		同日	研究協力員制度が発足
		同日	「免許外教科担任教員研修講座」を「免許外教科担任教員講習会」に改称
		同日	文部省委託「登校拒否児童生徒の適応指導に関する調査研究」H4～5
		11月12/13日	第5回中部ブロック産業教育センター所長協議会を開催
平成	5年	2月17/19日	第14期全国教育研究所連盟共同研究第2回全国研究集会を開催
		4月 1日	竹内邦雄 所長に就任
			「所報」を136号より「窓」と改名
平成	6年	2月23/24日	福井県教育研究所研究発表会第10回記念大会を開催
		3月28日	フレンド学級報告書「かえる」を刊行
		4月 1日	不登校相談拡充事業を開始
		5月31日	教育情報ネットワーク (FF-Net) を整備 (県立学校39校)
		6月 1日	高校用「マイライフ」開発を実施
平成	7年	3月22日	「教育相談ご案内」を作成
		31日	研究紀要第100記念誌を刊行
		4月 1日	真柄甚松 所長に就任
		同日	「個性を生かし、豊かな心を育てる教育の創造」を主題とする3か年研究を開始
		同日	電子計算機組織をACOS3400/75に更新
		同日	相談課内にいじめ対策特別委員会を設置
		8月31日	登校拒否を考える所内フォーラムを開催
		10月12/13日	全国理科教育センター研究協議会地学部会を開催
平成	8年	3月29日	「マイライフ利用の手引」を刊行
		31日	「教師のためのマルチメディア活用読本」第1集を刊行
		同日	「FF-Net利用の手引」を刊行
		同日	「コンピュータの教育利用の手引 (小・中学校編) 教師

			のためのQ&A] を刊行
	4月	1日	片桐哲郎 所長に就任
		同日	若狭支所を新嶺南教育事務所に統合
		同日	「情報処理教育課」を「情報教育課」に改称
		同日	「情報処理教育センター」を「情報教育センター」に改称
		25/26日	東海北陸教育研究所連盟総会を開催
	9月	5/6日	東海北陸教育研究所連盟研究協議会を開催
		19/20日	東海北陸理科教育センター研究協議会を開催
平成	9年	3月	21日 「教師のためのマルチメディア活用読本」第2集を刊行
			29日 「教師のための教育相談Q&Aポケット」を刊行
	4月	1日	森嶋太栄治 所長に就任
		同日	機構改革により6課制から5課制に再編 (総務課第一課、第二課、表現教育課、相談課、情報教育課から、企画運営課、教科教育課、科学教育課、教育相談課、情報教育課)
		同日	基本研修(初任者研修、教職経験者研修、幼稚園新規採用教員研修)が学校教育課から業務委譲
		同日	小学校教員対象に理科実験巡回研修を開始
	5月	15日	「福井県教育用ソフトウェアライブラリーセンター」を開設
		6月	26日 第33回全国教育研究所連盟管理運営事務等連絡協議会を開催
	10月		「福井県初等中等教育研究会」を設置
平成	10年	3月	23日 「教師のためのマルチメディア活用読本」第3集を刊行
			27日 フレンド学級報告書「ふれあうことで」を刊行
		4月	1日 「免許外教科担任教員講習会」を「免許外教科担任教員研修講座」に改称
		同日	小林啓佑 所長に就任
		同日	教職員研修講座案内の様式を改訂
		同日	小学校教員対象に作品の見方教室を開始
		同日	電子計算機組織としてパソコンを充実更新
		15日	FF-Netを地域情報ネットワークと接続
	9月	1日	心の教育相談員配置事業を開始
		同日	文部省「マルチメディアの特性を生かした教育の在り方」について調査研究を受託
	11月	10日	合同宿泊体験学習ウィズ・フレンズを開始
平成	11年	7月	19日 教育情報衛星通信ネットワーク(e1-Net)を運用開始
		7月	～ 十年経過教員研修で社会貢献活動を実施
		8月	21日 福井県海外教育事情研究会事務局を近年派遣団に移管
		11月	26日 福井県教育研究所50周年記念式典を挙げる
	12月		コンピュータ西暦2000年問題対応
平成	12年	3月	福井県教育研究所50年史を刊行
		4月	1日 影本清志 所長に就任
平成	13年		特設研修で「小学校における英語活動」「新たな荒れへの対応研修講座」を実施
平成	14年	4月	1日 河合正博 所長に就任

	同月	インターネット学習資料室を開設 特設研修で「教育の情報化と授業づくり」「教育評価研修講座」を実施 本所が「教員の資質向上と研修ビジョン」を策定
平成15年	4月1日	西輝昭 所長に就任
	4月	教育情報ネットワーク（FF-Net）をインターネットに対応
	同月	教育情報データベースを開設 主任等研修を開始
	10月	第51次福井県学力調査を実施
平成16年	4月1日	機構改革により組織を管理室、教職研修課、教科研修課、科学情報課、教育相談課に編成
	同日	赤澤孝 所長に就任
	5月	第52次福井県学力調査を実施
平成17年	4月1日	津田節江 所長に就任 「指導力不足教員に関する研修」「教養を高める研修」を開始
平成18年	4月1日	「要請訪問研修」を「学校訪問研修」と改称
	5月	第54次福井県学力調査を、小6、中3を対象に実施
	7月	教育情報衛星通信ネットワーク（e1-Net）を活用した研修を開始
平成19年	2月	第56次福井県学力調査を小5、中2を対象に実施
	4月1日	加藤良子 所長に就任
	同日	文部科学省の委託事業「問題を抱える子ども等の自立支援事業」の実践研究を開始 臨時任用講師研修を開始
平成20年	4月1日	中堅教員のキャリアアップのためのミドルリーダー研修を開始
平成21年	4月1日	松田通彦 所長に就任
	6月	教材研究支援システムの運用を開始
	11月20日	全国適応指導教室連絡協議会第15回東海・北陸地域会議を開催
平成22年	11月17日	東海北陸教育研究所連盟総会・第95回研究協議会を開催
	18/19日	全国教育研究所連盟20期共同研究第1回全国研究集会を開催
平成23年	1月31日～2月4日	「福井県学力調査」を「SASA」と改称し、全教科で活用力問題を出題
	4月1日	ミドルリーダー研修を拡充したミドルステップアップ研修を開始
平成24年	4月1日	中島嘉文 所長に就任
	10月	内定者研修を開始
	12月	SASAを実施
平成25年	4月1日	若手教員研修（1～3年目）を開始
	5月24日	放課後セッション（事例相談会）を開始
	6月1日	文部科学省の委託事業「心の訪問支援員」を設置し、各学校・家庭に派遣する等の実践研究を実施

	1	1月21/22日	都道府県指定都市教育センター所長協議会「食育・環境教育分科会（第4回）研究協議会及び研究発表会」を開催
平成26年	3月		福井県教育研究所ネットワークシステムの運用を開始
	4月	1日	機構改革により組織を管理室、研修部、調査研究部、教育相談部に編成
		同日	小和田和義 所長に就任
		同日	研修を、実践型集合研修（基本研修、職務研修を含む）、通信型研修、訪問研修の三本立てにする。
		同日	研究ユニット（数学、英語、学力調査、教育相談）を組織した研究活動を開始
	5月		教育相談機関ネットワーク会議による教育相談活動を開始
	6月		通信型研修の配信を開始
		13日	教育相談ネットワーク会議を開始
	7月		子育て応援のための「家庭教育相談・応援サイト」を開設
		10月	16日
	12月	11/12日	SASAの問題を「A基礎力問題」「B活用力問題」「Cチャレンジ問題」の3タイプに分類して実施
平成27年	4月	1日	若手教員自主学習サークルによる若手教員の支援を開始
		同日	研究ユニット（アクティブ・ラーニング）が研究活動を開始
平成28年	3月		適応指導教室（フレンド学級）閉室
	4月	1日	教育研究所移転準備室を設置
		同日	「ミドルステップアップ研修」を「中堅教員研修」に改称
		同日	研究ユニット（大学入試制度改革）が研究活動を開始
		同日	訪問研修「突破力育成！学校サポートプログラム」「高校教育相談室応援」を開始
		同日	障害を理由とする差別に関する相談窓口業務を開始
	6月	1日	学習支援システムの運用を開始
	6月		遠隔授業・研修システム整備事業によりWeb会議システムを導入
	9月	2日	全国適応指導教室連絡協議会・第22回東海・北陸地域会議福井大会を開催
		10月	
平成29年	4月	1日	福井県教育総合研究所に名称変更
		同日	機構改革により組織を管理室、教科研究センター、先端教育研究センター、教職研修センター、教育相談センター、教育博物館に編成
		同日	本所にサイエンスラボが開所
		同日	「十年経験者研修」を改め、「中堅教諭等資質向上研修」を開始
		同日	ミドルリーダー養成研修を開始
		同日	マネジメント研修を開始

	同日	福井大学教職大学院と共催で免許状更新講習（中堅教諭資質向上研修読替可）を開始
	4月 1日	教育相談センターに心理職、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置
	15日	教育総合研究所開所記念式典を挙行
	同日	本所にて教育博物館が開館
	29日	サイエンスラボにて理科実験配信を開始
	6月21日	福井県適応指導教室連絡協議会を創設し、事務局を教育相談センターに設置
	7月22日	「東京大学の研究者に学ぶ講座」（小型模擬人工衛星開発講座）を開始
	9月 9日	教育博物館企画展『ふるさとに学ぼう』を開催（～11月5日）
	30日	「京都大学の研究者に学ぶ講座」（iPS細胞講座）を開始
	11月 8日	教育博物館特別展『文部省唱歌誕生』を開催（～30年1月8日）
平成30年	1月14日	教育博物館特別展『芳賀矢一』を開催（～3月25日）
	16日	独立行政法人教職員支援機構福井研修センターを設置
	2月28日	小学校における外国語教育指導者養成研修を開催
	4月 1日	牧野行治 所長に就任
	同日	「教育のための科学研究所」と連携し、リーディングの研究を開始
	14日	教育博物館企画展『藩校の教育改革』を開催（～6月3日）
	6月16日	教育博物館特別展『福井震災と学校』を開催（～7月8日）
	9月15日	教育博物館企画展『近代教育のはじまり』を開催（～11月11日）
	9月28日	天皇皇后両陛下が行幸啓で教育博物館を御視察
平成31年	2月11日	課題解決型学習モデル開発事業成果発表会を開催
	3月 2日	教育博物館特別展『さようなら平成』を開催（～5月6日）
令和 元年	7月12日	教育博物館企画展『もう一度読みたい国語教科書』を開催（～9月1日）
	10月 1日	教育相談センターに自立支援センターを開設
	10月 4日	教育博物館特別展『平瀬作五郎』を開催（～11月24日）
	12月	福井県学力調査（SASA）をABC融合問題とする。
令和 2年	1月23日	教育博物館特別展『唱歌と童謡』を開催（～3月22日）
	4月 1日	教育委員会機構改革により、教職員課主管となる。
	同日	E-サポート（市町教委と連携した、組織的・体系的な訪問型研修）を開始
	同日	研修制度を精選・効率化
	同日	教員研修制度の見直し（ミドルリーダー養成研修など）
	同日	マルソー文庫の運用を開始
	4月	福井県版ポジティブ教育を開始

	5月	各種教員研修にオンライン研修を導入
	6月12日	G I G Aスクール構想実現のため、タブレット端末活用プロジェクトチームを創設
	6月24日	教育博物館特別展『教科書で教えられた伝染病』を開催（～8月30日）
	7月17日	教育博物館企画展『地図を見る、読む、楽しむ』を開催（～9月27日）
	10月 3日	教育博物館企画展『～イチョウの謎を解いた男～平瀬作五郎の挑戦』を開催（～12月6日）
	11月 7/8日	第1回ふくい缶サットグランプリを開催
令和 3年	1月15日	教育博物館特別展『オリンピック・パラリンピックと教科書』を開催（～3月28日）
	4月 1日	北川裕之 所長に就任
	5月21日	教育博物館特別展『校章展』を開催（～7月4日）
	7月 9日	教育博物館企画展『理科挿絵の世界～理科を描いた挿絵画家 天木茂晴 原画展～』を開催（～10月3日）
	10月 9日	教育博物館特別展『わたし、先生になる～鯖江女子師範学校での学び～』を開催（～12月12日）
	11月	生活や学習、学級に関する調査（質問調査）をタブレット端末等を使用し、対象学年を拡大して実施